

ベリマークSC（農林水産省登録番号 第24090号）

農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法

令和7年1月15日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラネリブ [®] ロールを含む農薬の総使用回数		
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ アブラムシ類 アザミウマ類 ネキリムシ類 ウリハダ類 シロイチモンジヨトウ キスジノミハムシ	400倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の処 理は3回以内)		
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ カブラハダチ類 アブラムシ類 シロイチモンジヨトウ キスジノミハムシ							4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の処 理は3回以内)	
ブロッコリー	ハイマダラノメイガ			コナガ アオムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 アザミウマ類 シロイチモンジヨトウ			は種覆土後 ～定植当日	育苗期後半 ～定植当日	4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の処 理は3回以内)
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 アザミウマ類 シロイチモンジヨトウ						4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の処 理は3回以内)		
レタス 非結球レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ ヒメアタテンヨコバイ ハモグリバエ類 アブラムシ類 ウリハダ類 シロイチモンジヨトウ			コオロギ類			定植当日	4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の処 理は3回以内)	
	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ								1回
カリフラワー	アブラムシ類			タマネギハエ タネハエ シロイチモンジヨトウ アザミウマ類 ハモグリバエ類 ネキリムシ類 ネギコガ			育苗期後半 ～定植当日	4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の処 理は3回以内 (但し、株元灌注 は1回以内))	
ねぎ	シロイチモンジヨトウ アザミウマ類 ハモグリバエ類 ネキリムシ類 ネギコガ								2000倍

(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	シアントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	2000 倍	0.1L/m ²	収穫 7 日前 まで	1 回	灌注	1 回
	ハスモンヨトウ シロホノメイガ アブラムシ類	4000 倍	0.2L/m ²				
非結球あぶら な科葉菜類 (ケールを除 く)	アオムシ コナガ アブラムシ類			400 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱またはペー パーポット 1 冊 (約 30× 60cm、使用土 壌 約 1.5～ 4L) 当り 0.5L	定植当日	1 回
ケール	ネリムシ類						
いちご	ハスモンヨトウ	1000 倍	25～50mL/株	育苗期後半	1 回	灌注	4 回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元灌注 は合計 1 回以 内、定植後 の散布は 3 回 以内)
	ハスモンヨトウ アザミウマ類 コナジラミ類 コガネムシ類 チャクワバネキノ バエ		50mL/株	育苗期後半 ～定植当日			
	アブラムシ類		25～50mL/株				
	ハスモンヨトウ	10000 倍	500mL/株	定植直後		株元 灌注	
トマト ミニトマト	コナジラミ類	200 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱またはペー パーポット 1 冊 (約 30× 60cm、使用土 壌 約 1.5～ 4L) 当り 0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1 回	灌注	5 回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元灌注 は合計 1 回以 内、定植後の 株元灌注は 1 回 以内、定植後の 散布は 3 回 以内)
		10000 倍	1～3L/m ²	定植 14 日後 まで			

(つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリブ [®] ロールを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
きゅうり	アブラムシ類	400株当たり 25mL	400株当たり 2～20L (1株当たり 5～50mL)	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元灌注 は合計1回 以内、定植後 の散布は3回 以内)
			400株当たり 20～200L (1株当たり 50～500mL)	定植直後		株元 灌注	
	アザミウマ類		400株当たり 20L (1株当たり 50mL)	定植直後		株元 灌注	
	アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類		400株当たり 10～20L (1株当たり 25～50mL)	育苗期後半 ～定植当日		灌注	
トマト ミニトマト	アブラムシ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類 トマトキハガ コナジラミ類	400株当たり 25mL	400株当たり 10～20L (1株当たり 25～50mL)	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	5回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元灌注 は合計1回以 内、定植後の 株元灌注は1回 以内、定植後の 散布は3回以 内)
	コナジラミ類		400株当たり 20～200L (1株当たり 50～500mL)	定植直後		株元 灌注	
ピーマン	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	400株当たり 25mL	400株当たり 10～20L (1株当たり 25～50mL)	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元灌注 は合計1回以 内、定植後の 散布は3回以 内)
	コガネムシ類		400株当たり 10L (1株当たり 25mL)				
	アブラムシ類		400株当たり 20～200L (1株当たり 50～500mL)	定植直後		株元 灌注	
なす	アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 ネキリムシ類	400株当たり 25mL	400株当たり 10～20L (1株当たり 25～50mL)	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	1回
	アブラムシ類		400株当たり 20～200L (1株当たり 50～500mL)	定植直後		株元 灌注	

(つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
メロン すいか	アブラムシ類 アザミユカ類 コジラミ類	400株当り 25mL	400株当り 10～20L (1株当り 25～50mL)	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	1回
	アブラムシ類		400株当り 20～200L (1株当り 50～500mL)	定植直後		株元 灌注	
ししとう	アブラムシ類 アザミユカ類 コジラミ類		400株当り 10L (1株当り 25mL)	育苗期後半 ～定植当日		灌注	4回以内 (灌注は1回 以内、散布は 3回以内)

[ベリマーク SC 製品ページに戻る](#)

【成分】 シアントラニプロール（通称：サイアジピル）18.7%

水、界面活性剤等 81.3%

【性状】 類白色水和性粘稠懸濁液体

殺虫剤分類

28

効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 薬液調製後はできるだけ速やかに使用してください。
- アルカリ性の農薬や肥料との混用はさけてください。
- 本剤は土壌表面に処理することで効果を発揮することから、株元灌注を行う場合には、作物の株元に処理出来る時期に処理してください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用后14日間は入水しないようにしてください。
- 空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水は散布液調製に用いるなど、ほ場等で使用してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意してください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。処理器具及び容

器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。水で希釈すると残渣が認められることがありますが、品質には影響ありません。

- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所に保管してください

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届くところには置かないでください。
- 空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水は散布液調製に用いるなど、ほ場等で使用してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。